

1. レジ袋削減への取組の概要

- ・ レジ袋削減に向けた普及啓発活動として、イベント等において「マイバッグ使用の推奨」やレジ袋削減方法の一つとして、「風呂敷の利用」を PR するため、パネルやチラシ配布、体験ゲームの参加賞としての配布などを行っている。
- ・ 墨田区の区民団体「すみだリサイクルの会」は、「生活の知恵」として古着やあまり布等をリユース・リメイクした様々な作品を作成しており、「傘布」、「古布」でつくったマイバッグ等をイベント等において展示し、レジ袋の削減を PR した。

2. 事業者のレジ袋有料化への取組の中止・中断への事態への対処状況・国への要望

- ・ レジ袋有料化は、有料化実施店舗から有料化未実施店舗への客離れを招く恐れがあるため、当区においては各店舗・業者で判断することとしている。

3. 環境負荷の少ない素材を利用したレジ袋やロール状ビニル袋の利用の促進について

- ・ レジ袋の利用規制は、レジ袋の有料化及びマイバッグ持参のPRという形式で、実施する必要があると思われる。

4. コンビニエンスストアやドラッグストア等の巻き込みに関する考え

- ・ スーパーなどとは違い、比較的マイバッグ持参率が低いと思われる場所については、インセンティブの付与等ではなく、マイバッグ持参及びレジ袋辞退運動の推進を優先して実施した後に、インセンティブの付与、表彰制度等を導入した方がよいかと思われる。

5. 全国で統一した取組と調整の必要性、具体的なアイデア

- ・ 各店舗での客離れを防ぐという意味では、同一業種（スーパー、コンビニ等）内においては、統一価格でのレジ袋有料化の検討が必要と思われる。

6. ライフスタイルの見直しに向け、国から消費者や業界団体への働きかけの必要性

- ・ 大量消費・大量生産・大量廃棄の社会経済システムやライフスタイルの見直し、簡易包装の実施及び量り売り等の働きかけが必要である。